

# 働学の絆

同窓会事務局 三条市月園1-2-1  
発行責任者 曾根忠一郎  
編集委員長 野水 秀勝  
TEL: 0256-33-0208  
FAX: 0256-33-0134

## 学生時代の思い出を語り合おう



三條高等学校同窓会定時制部会  
部長 曾根 忠一郎

遠くの山々の雪も消え、  
辺りは緑一色。県央地域の  
田圃も緑の絨毯を敷き詰  
めたかのよう。各地から  
梅雨入りのニュースが聞こ  
え始め、紫陽花も咲き始め  
た六月第二土曜(九日)に、  
新潟県立三條高等学校 定  
時制部会の総会を開催い  
たしました。

心配された天気も、まず  
まず。受付開始とともに、  
開催を待ちわびた出席者の  
皆様が続々とお越しくださ  
いました。ご来賓としてお  
越しいただいた三條高等学  
校 同窓会副会長・横山正  
明様のご挨拶では、「三條高  
等学校 定時制の同窓会は  
中身が濃く、元気に溢れて  
いる。県内でもこんなに楽  
しい同窓会は珍しい」と、  
お褒めのお言葉をいただき  
ました。続いて、今年の四  
月より三條高等学校の学  
校長に着任された中田亮  
一先生からは、学校本部  
の役員会や総会への協力

に御礼の言葉をいただき  
ました。さらに、総会内に  
て、今年逝去された笹木前  
会長と若穂前事務局長  
に対して黙祷させていただ  
きました。総会も予定通  
りに進行し、議事も第一号  
議案から第三号議案に至  
るまで満場一致でご承認  
をいただき、懇親会に入り  
ました。

昼間に法事に参列された  
後に急いで駆けつけてくれ  
た人、また五十五年越しに  
初参加してくれた人(もち  
ろん五十五年振りの再  
会!)。年代やいま置かれ  
た状況を超えて、楽しく飲  
み語らえる仲間は今後も大  
切にしてゆきたいもので  
す。今回も、アコーディオ  
ンとギターに合わせて、毎  
回大盛り上がり合唱タイ  
ム。会の締めには、全員  
で、校歌を大声で斉唱し、  
束の間の楽しいひと時は、  
また来年までのお預けに  
なりました。

## 源泉こんこん



三條高等学校同窓会  
会長 山井 太

三條高校同窓会定時制部  
会の皆さまには、ますます  
ご健勝のこととお慶び申し  
上げます。

皆さまにおかれまして  
は、日頃、同窓会活動の活  
性化にお力添えを頂き、誠  
にありがとうございます。

おかげさまで、同窓会長  
として、会の運営も滞りな  
く進めさせていただき、本  
年で四年目を迎えることと  
なりました。

四年目、発刊第四号を迎  
える会報「働学の絆」が、  
皆さまとの情報共有の場と  
なり、なつかしい恩師のお  
話や、同級会の活動報告、  
さらには趣味や余暇を楽し  
まれるの様子を拝見させて  
いただきますと、大変よろ  
こばしく感じるとともに、  
あらためて定時制部会の意  
義を実感しております。

地元企業で働きながら学  
ぶ皆さまの心の中に、定時  
制での学びの風景・学生時  
代に培った友情など、かけ  
がえのない思い出が生き続  
いている事を、同窓会長と  
して誠に感慨深く感じてお  
ります。

今後とも変わらぬご支援  
をお願ひ申し上げます。ま  
さに、定時制部会の皆さま  
ますますのご発展とご活躍  
を心より祈念しております。



五十嵐川

## 着任の挨拶



三條高等学校  
校長 中田 亮一

この四月に上杉前校長の  
後任として着任しました。  
本校赴任以前は県立教育  
センター所長を務めてまい  
りました。よろしくお願ひ  
いたします。

校長室には、同窓会の記  
念誌や会報があり読ませて  
いただいておりますが、改  
めて本校が県央地区の教育  
の拠点として果たしてきた  
役割の大きさや、同窓の皆  
様の母校への愛情を強く感  
じる次第であります。

昭和四十九年の記念誌に  
は、准看護婦養成所と高校  
との両立で、忙しく葛藤を  
抱えながら送る日々の中  
で、自らの成長を感じ取り、  
看護師の道を選んだ事  
への自信と誇りが力強い言  
葉で語られた生徒の作文が  
載っていました。働きなが  
ら、あるいは養成所等で学  
びながらも、自ら選んだ道  
を大切に、努力を続けてこ  
られた方は多かつたと思  
います。別の記念誌には、年  
齢や職種を超えた付き合い  
から多くの学びがあつたこ  
とや、夜遅くまで働きたが  
らも学校は休まず頑張った  
ことなどの思い出が載って  
いました。屋台で先生方と

人生談義という、古きよき  
時代を感じさせるエピソード  
もありました。私の父は  
早くに父親を亡くし、妹や  
弟を食わせるため働かざ  
るを得なかつたそうです。  
幸いなことに職場の理解が  
あり、できたばかりの地元  
の定時制高校に通わせても  
らい、終生このことを感謝  
し語っていましたので、若  
い父の姿と重なるようで感  
慨深いものを感じました。

同窓会の皆様が社会で活  
躍する姿は本校の誇りであ  
り、生徒たちの励みでもあ  
ります。皆様の益々のご健  
勝とご活躍を祈念いたしま  
すとともに、今後とも一層  
の激励とご支援を賜わりま  
すよう、よろしくお願ひ  
いたします。



### 三高同窓会 定時制部会 第18回懇親会アルバム

(楽しい同窓会懇親会記念写真として保管をお願いします。)

2018.6.9 会場…銭心亭 おい乃



#### 総会・懇親会

##### 第1部

##### 総会

司会	事務局長	野水秀勝
部会長挨拶	部会長	曾根忠一郎
来賓挨拶	同窓会副会長	横山正明様
来賓挨拶	学校長	中田亮一様
議事報告	第1・2号議案	
	会計監査	長沼宣男
	第3号議案	

議事は原案通り承認可決されました。

イキイキ体操	全員でリラックス体操
記念写真	ステージで全員



うれしいコシヒカリ1kgプレゼント



生伴奏つきで大合唱

##### 第2部

##### 懇親会

司会	副部会長	坂井正和
	来賓紹介・恩師紹介	
乾杯音頭	腹部会長	坂井正和
会食 歓談タイム		
プレゼントタイム	プレゼンター	栗山 茂・野沢ミチエ
感謝プレゼント	壇上で各テーブル代表者へ	
	(下田榎山産コシヒカリ1kgを全員にプレゼント)	
懐かしの合唱タイム		各テーブルごと合唱
	アコーディオン	長沼宣男
	ギター	石綿富一
校歌斉唱	指揮	首藤隆司様
閉会挨拶・御礼	相談役	長瀬嘉之助

#### 四季雑詠

昭和三十六年 第七回卒

加野康子(旧姓宮島)

幼子の絵で取る  
いろはかるたかな

手を引かれ来る  
花嫁に花吹雪

百名山踏破  
残すは雪の峰

上下に点る  
学ぶ灯夜なべの灯

雪吊りの  
一つ傘に夫婦松



～いつもの顔 初めての顔～ 楽しい懇親会でした



元気いっぱい  
両手に花



第1回卒を  
囲んで



役員さん  
ご苦労様



いつものメンバー懐かしく



第9回卒はまるで  
同級会



初の井之川先生  
ありがとう



息もピッタリ  
中田新校長・横山副会長・小林元教頭



首藤先生と17回卒  
ミニ同級会

「働学」という言葉の重み、偉大さ、厳しさ、せつなさ、生き方など人生についても、たくさん教えていただいたように思います。まだまだたくさんの方に思い起こされますが、定時制同窓会の益々の発展と皆様の健康を祈念し、筆を置かせていただきます。

思えば私の年齢は、ちょうど第十回卒までの皆様方のお子さんの年齢とほぼ等しく、そんな私と大変仲良くしていただき、「教頭さんが一番大変だ。」と優しくねぎらってくださいました。そのような皆様への恩返しは、定時制同窓生の皆様の思いをしつかりと受け止め、大切にしながら、諸事進めていくことであると決意しておりました。

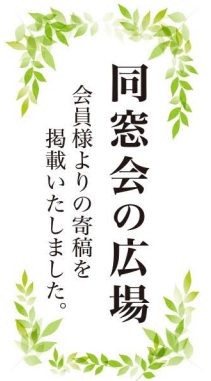
とにかく、皆様に直接お会いして、改めて一言御礼を申し上げねばと思っていた次第です。閉課程式典や感謝の会の実施、記念碑や記念誌等の作成にあたり、皆様には本当にひとかたならぬお世話になりました。大変ありがとうございました。

新潟県立三条高校定時制の閉課程から、早くも七年の時が過ぎてしまいました。定時制最後の教頭として閉課程を担任させていただきながら、ずっとご無沙汰しており、大変に心苦しく思っております。



県立八海山  
高等学校校長  
小林 浩人

ご無沙汰しておりました



# 同窓会の広場

会員様よりの寄稿を  
掲載いたしました。

## 三高ありがとう

昭和三十二年 第三回卒

村井吉太郎

昭和三十二年(高卒)時代は大変な就職難で、私などは衣食住があつて給料がもらえる自衛隊(航空)に籍を置いたわけです。長岡の公会堂で受験し、航空志願者百七名中合格者三名、新潟日報にも載りましたよ。頭初からジェットエンジン整備の道に進んだのですが、全て米国製で整備学校の教官の一部までが米軍でしたから高校の知識が諸に必要になつた訳です。英語・物理・化学・数学I・II・幾何学等。今でも高校の教科書・参考書は座右の書としています。「三高ありがとうございました」隊勤途中で整備幹部を受験し、たまたまあげの中間管理職などをやつて三十数年勤め上げました。これらの知識・技能の側用と自衛隊員の経験をもとに次は損保会社の査定員に就職し十数年勤務で終わった人生ですが、八十才を過ぎて体調も劣化し第二の人生後胃がん切除・昨年春からギランバレ症候群などという体に全く力の入らない病に急襲され、今は闘病の回復・リハビリ歩行・小走り・スポーツジムで筋力アップ中です。でも治るであろうことを夢・目標にして頑張つてます。10kmマラソン参加が目標です。

## 我が青春

昭和三十二年 第三回卒

鈴木米子

久し振りに卒業アルバムに見入つています。十八才の初々しい同級生や若々しい先生方がおいででした。「定時制と但し書きのつく高卒を肩身せまし」と云う我に「高く評価あり」と息子は云つてくれています。

「勉強がしたくてく、定時制に入りし同級生、卒業時には半数に未足らず」  
「思いきり寝てみたい、思いきり勉強がしたい。思いきりおいしい物た食べたいなあー」  
我が青春の悲願なりでした。

今春八十路を登り切りました。人生西年を迎えた昨今一足くゆつくりと下山しております。戦争の無い平和のお陰かと喜ぶ一方遠い地球上で今でも戦争を繰り返している国々があります。人間の英知で地球を守つていきたいものです。今日も一日元気で過ごしました。今晚もぐつすり寝れそうです。

ごきげんよう。お休みなさい。

## 音楽部のキャンプ

昭和三十四年 第五回卒

植木憲一

確か、四年生の夏休みだったと思うが、音楽部でキャンプに行つた。場所は、信州笠岳の下とだけ覚えてる。キャンプ場には池があつてポットも浮かんでいた。食事を作つたり、キャンプファイヤー

をしたり、テントでねたり。誰もが初めての体験だったと思う。とても気持ちがハイになつていた。集まると、歌をうたつた。帰りのバスの中でも歌が始まった。ほかの乗客に注意されてみんな我に返つた。シュン。

## 高校生活を支えた部活

昭和三十九年 第十回卒

野崎美恵子

職場が病院の為欠席、遅刻は多々ありましたが、学校生活は充実してました。楽しみも見つけました。卓球を始めたのです。練習は放課後の数十分でしたが、夏休み中は都合のつく限り通いました。練習と上達は違います。そんな私にサブライズがありました。夏休み終了後先輩コーチより新しいラケットをプレゼントされました。又、定高の中越大会に選手として参加させてくれました。お揃いのユニホームで出場した光景は今でもはっきり覚えています。定校生活は夢に向かって輝くことの出来る場所だつたと思えます。

## 感動を再びこの国で

昭和四十二年 第十三回卒

野沢ミチエ

一九六四年十月のある日、東洋の魔女といわれた女子バレーボールの決勝戦を、私たちクラスは図書室で観戦していた。結果は金メダル。図書室の中だけでなく、日本中が沸き上がった東京オリンピックであつた。

あれから半世紀以上経ち、二〇二〇年には再び東京にオリンピックが開催される。髪が白くなり、顔にシワが増え、身体の衰えは加速を増すばかりである。しかし、あの時と同じ感動を再び味わえる日がもうすぐやってくる。アスリートたちの努力が実つて表彰台に上がる人が何人いるだろうか。是非、また一生懸命応援しながらこの目で確かめたいと思つている。



一緒に、つくる。お客様と。

**ツイナード工業株式会社**  
TWINBIRD 新潟県燕市吉田西太田 2084-2 0256-92-6111(代表)

**snow peak**  
outdoor lifestyle creator since 1958

株式会社スノーピーク  
〒955-0147 新潟県三条市中野原456  
Tel. 0256-46-5858 Fax. 0256-46-5860 <https://www.snowpeak.co.jp>

雑感



昭和四十八年  
第十九回卒  
笠原美代子

今年には六十五歳。年金をもらう年に。

それを機に働いて来た年月を振り返る。家庭の事情で、職場は四ヶ所変わったが、子供の頃から頑張っていた職業は一貫でした。

青年時は働きながら学ぶ事に、壮年時は波の様に次々と迫り来る出来事に追われるままに。気づいたら今である。楽しみを味わう事もなく過ごして来た日々であったが、大病や大過なく、今の時を生きている事に、ただただ感謝である。そして長く感じるであろう、これからの日々の過ごし方を真摯に求めてゆきたいと思う。

私の活動のみなもと

昭和四十九年 第二十回卒  
鈴木チイ子

少しでも何かの役に立ちたい、社会と繋がっていたい、との思いから始めたパートとボランティア。どちらも子どもに関わることで私にとつては、やりがいがあります。

子どもたちや保護者の方々からは学ぶこと然りです。云十年前の子育て経験は頭の片隅に冬眠状態です。  
子どもたちとのやりとりで、心がホッとあつたかくなったり、ウーンと考えさせられたり様々です。一緒に過ごす時間帯はちよつ

ぱり緊張します。が、子どもたちからは感動・エネルギーを貰いつつ、元気の源にしている私です。家族をはじめ周囲の方々に感謝しながら、日々の活動を継続しています。

「働く」ということ

平成十年 第四十四回卒

岡 明子

定時制に入学し、第一にやった事とは、

「働くところをみつめる」こと。なかなかOKを出してくれるところが無い。

やつとみつきり日々自分なりに頑張った。働いて「自分のお金」というモノに心が踊った。初任給はとても嬉しかったのを覚えてい

る。その職場にもようやく慣れてきた頃、社長さんに、

「働いて賃金をもらおう。それはそこに信用も含まれる」と言われたことがある。当時の私は意味など全く理解していないし、解つてもいない。それから月日経ちいろいろな職場を経験し、今あの言葉の一片がみえてきた気がする。

この仕事を任せる。任せてみる。そこには、信用と信頼関係があるからこそ。まだまだ修行中。まだまだ学ぶことはある。だから常に「一生懸命」



同窓会事務局へのメッセージ

第二回卒 道見 静江  
同窓会定時制部会の益々の発展をお祈り申し上げます。

第一回卒 齋藤 善一

設営準備ごころう様です。一昨年、膀胱ガンの手術を受けました。今年春には放射線治療を十六日間しました。このところ元気で毎日自転車で雑用をこなしています。

柏崎は交通の便が悪く出席は無理です。よろしくお願いいたします。盛会を祈念しております。

第四回卒 石月 了太

役員の方、ご苦勞様です。欠席させていただきますが、私は元気です。皆様によりしくお伝えください。

第六回卒 宮原十九三

小生も元気です。毎年総会に参加しております。青春時代の四年間机を並べた同級生達にお互い元気な姿を見せあうことができるのは大変嬉しいものです。最近は何々同級生の参加数が少なくなりました。これも致し方ないことと思いますが自分も淋しいです。

第六回卒 増田由紀子  
残念ですが所用で欠席させていただきます。皆様のご多幸をお祈りいたします。

第七回卒 金子芳三郎

幹事さん、ご苦勞様です。小生七十七歳となり、元気といたいのですが毎年診察券の枚数が増えています。今年も、週一で角田山に遊べるように願っております。ご参加の皆様のご健勝を祈ります。

第八回卒 宮島 和子

会長はじめ役員の方々ご苦勞様です。

第八回の私どもは諸事情考え方の相違などで今回も出席者がおらず協力できないことを申し訳なく思っております。これからは若い人達の力で継続発展していただきますようお願いいたします。お祈り申し上げます。

第九回卒 帆苺 正孝

部会長はじめ役員の皆様ご苦勞様です。近況報告  
七年前に前立腺ガン手術し今現在は良好に推移心配なし。  
三年前指定難病、後縦靭帯骨化症手術しリハビリに頑張っています。

日常生活一人でできるまでになりました。ご出席者皆様のご健康を心より願っております。

**庖丁工房** オンラインショップ はじめました。  
http://www.tadafusa.net

庖丁工房タダフサ ファクトリーショップ  
三条市東本成寺27-16 電話 0256-32-2184  
営業時間：9:00~18:00 (定休：日曜/祝祭日)

在宅介護の  
アレック **北栄** 高齢者と介護者の暮らしをお手伝い  
Assistance for the Life of the Elderly and their Care-givers

株式会社 **北 栄**  
昭和36年 第7回卒 村上 聖一  
本社/長岡市雨池町44-5 TEL(0258)28-0629 FAX(0258)28-0640  
新潟/新潟市中央区愛宕2-10-2 新潟/新潟市秋葉区金沢町3-1-9  
新潟東/新潟市東区船江町2-5-15

「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。

三高同窓会ホームページ <http://www.sanjo-dosokai.gr.jp> 定時制部会の「働学の絆」が掲載されています。



一石二鳥



昭和三十六年  
第七回卒  
村上 聖一

二〇〇三年指定管理者制度が始まった(公の施設や公園を民間が一括管理運営する)参加する企画書や受託後の樹木、庭木の管理知識を得るため二〇〇七年六十五歳の時、通信教育で六ヶ月間庭園技能講座を受講した。これが面白く今は本社の他数か所ある支所で社員と共に植え込みや樹木管理をやっている。植木鋏を持ってチョコキ、チョコキするのは楽しいですよ、枝は少々切り込んで又伸びます。これは整理整頓の社員教育にもなり趣味と実益を兼ねていると自己満足しています。



私と家庭菜園

昭和三十八年 第九回卒

曾根忠二郎

霜月ともなつて家庭菜園に目をやると、大根と葱だけが元氣を出している。十月半ばに植えた玉葱の苗が頭を持ち上げて、大根と葱の仲間入りをしようとして頑張っている姿に、「元氣を貰う。畑作業も殆どする事もなく、冬には草も自然に枯れ、翌年三月の玉葱に肥料をたつぷりと撒く迄は休みとなる。

健康のために家庭菜園を始め、もう三十年。当時、四十歳の頃には管理機(耕運機)も使わず、鋤一本で全てやったものだ。然し、古希を過ぎると寄る年波には勝てず、機械に頼ったりする部分も大分増えてきた。

四月から五月の連休には、茄子、胡瓜、トマト、ピーマン等、夏野菜の十五種類位は、天候に関係なく種を蒔き、苗を植える。

これからも体の続く限り、健康のために野菜づくりを続けてゆきたいと思う今日この頃だ。



趣味と健康

秋の杵池高原トレッキングに挑戦



昭和三十一年  
第二回卒  
坂井 正和

紅葉の杵池高原白樺駅からゴンドラリフトで二十分。杵池ロープウェイ「六分」で杵池自然公園に到着いたしました。途中の紅葉は素晴らしかったです。標高一・九〇〇メートルで日本有数の広大な高層湿原、白馬連峰の雄姿を仰ぎ見ながら見事な紅葉「国立杵池高原」園内は良く整備された木道を散策しながら山々に囲まれ山の清々しい風景や秀麗な癒されながら約三時間半位散策し本日の宿高杵池山荘に四時半頃到着いたしました。宿は温泉付きでしたので充分休養を取り、明日は帰るだけ?・・・

尚六月頃になると杵池高原が高山植物のお花畑が素晴らしいそうなので「トレッキング」を楽しみながら足腰をきたえ健康に留意しながら挑戦したいと思っております。



杵池自然公園  
標高2010mの展望台  
白馬大雪渓を中心に右に白馬岳(2932m)、左に杵子岳(2812m)を望む



阿弥彦山



粟ヶ岳

寄付金サポーター

本年もよろしくお願ひします

1955年	昭和30年	第1回卒	道見 静江	1961年	昭和36年	第7回卒	塩原 徹	1964年	昭和39年	第10回卒	横山 秀雄
1955年	昭和30年	第1回卒	笛木 ミネ	1961年	昭和36年	第7回卒	多田 文栄	1964年	昭和39年	第10回卒	石田 信子
1955年	昭和30年	第1回卒	鈴木四子二	1961年	昭和36年	第7回卒	新倉千鶴子	1964年	昭和39年	第10回卒	野水 秀勝
1955年	昭和30年	第1回卒	齋藤 善一	1961年	昭和36年	第7回卒	長沼 宣男	1964年	昭和39年	第10回卒	後藤 勝
1957年	昭和32年	第3回卒	外山 忠弘	1961年	昭和36年	第7回卒	渡辺 チヨ	1965年	昭和40年	第11回卒	大谷 イヨ
1958年	昭和33年	第4回卒	石月 了太	1961年	昭和36年	第7回卒	佐藤 ヒロ	1966年	昭和41年	第12回卒	田巻 直人
1958年	昭和33年	第4回卒	若穂 義勝	1961年	昭和36年	第7回卒	柄倉 雅世	1966年	昭和41年	第12回卒	小林タイ子
1959年	昭和34年	第5回卒	笹川 正司	1961年	昭和36年	第7回卒	西方 静子	1967年	昭和42年	第13回卒	野沢ミチエ
1959年	昭和34年	第5回卒	植木 憲一	1962年	昭和37年	第8回卒	森山 寿栄	1968年	昭和43年	第14回卒	宮本 康祐
1960年	昭和35年	第6回卒	加藤 菊江	1962年	昭和37年	第8回卒	小林 堅三	1969年	昭和44年	第15回卒	野水 一之
1960年	昭和35年	第6回卒	池井 淳子	1963年	昭和38年	第9回卒	帆 莉 正孝	1971年	昭和46年	第17回卒	若林多佳子
1960年	昭和35年	第6回卒	塩野 紀子	1963年	昭和38年	第9回卒	藤井 道子	1971年	昭和46年	第17回卒	金子 宏子
1960年	昭和35年	第6回卒	増田由紀子	1963年	昭和38年	第9回卒	関根 智歌	1973年	昭和48年	第19回卒	笠原美代子
1960年	昭和35年	第6回卒	宮原十九三	1963年	昭和38年	第9回卒	山田 洋子	1974年	昭和49年	第20回卒	鈴木チイ子
1961年	昭和36年	第7回卒	村上 聖一	1963年	昭和38年	第9回卒	諸橋 幸枝	1980年	昭和55年	第26回卒	梅津 宏子
1961年	昭和36年	第7回卒	若林美枝子	1963年	昭和38年	第9回卒	曾根忠一郎	2005年	平成17年	第51回卒	長瀬喜之助
1961年	昭和36年	第7回卒	佐藤 正巳	1963年	昭和38年	第9回卒	出羽 勝	2011年	平成23年	第57回卒	神田 真

皆様の御協力ありがとうございました。



# 恩師だより

## 働学で頑張った 女子生徒の思い出



恩師 阿久津文雄

バレエ部顧問の時に出会った女子の生徒ですが、母子家庭でその上お母さんがリュウマチで病院に入院しているという、恵まれない家庭環境のもと、家庭の経済を自分が支え、弟の面倒を見ながら、定時制に入学してきました。そして、四年間頑張り通し、晴れて卒業式には全国定通教育振興会長賞を受賞し、卒業することができた生徒です。気持ちがいやしく、何事にも一生懸命取り組み、放課後のバレエの部活には一回も休みませんでした。他の生徒が休んでも、他から見れば面白くないレシーブ練習を自分一人で黙々とやっていました。本当にバレエが好きで、たまに私も相手をしながら、たまたま私もありました。家のことをやりながら、働学の意義を認識し、両立の難しさを感じました。現在は新しい所帯を持ち母親として子育てに奮闘しています。

## 懐かしい顔を見たいね



恩師 首藤 隆司

若い日に大変苦労して高校を卒業した皆さん、あのころ一緒に苦労した仲間と会いたくないですか。同級生だった仲間と声をかけて、一緒に六月九日(土)午後四時「おお乃」で開かれる三条高校定時制同窓会にぜひ来てください。学校時代の懐かしい思い出話をしましょう。

私はとうとう八十二歳になつてしまいました。短歌会の指導をしたり、老人施設へ歌を歌いに行ったり、FMラジオで歌を放送したり、元気に老後を楽しんでいます。

## 三条高校を訪ねて

恩師 木村 真吾

いつも案内をいただき感謝申しあげます。先日、三条高校を訪ねる機会があり懐かしく思い出しました。定時制の教務室や給食室もなく、時間の経過を感じました。



## 期待される高齢者



恩師 田村 忠夫

私が勤務していた頃(三十八年〜四十二年)、当時の三高生は、あと数年経てば、いわゆる後期高齢者となります。

私は来々年八十歳となりますが、ここ二〜三年体力・知力の限界を感じるこの頃です。循環内科・膝痛で外科に通つていますが、今冬、スキー教室で足慣らしして、志賀・尾瀬等で滑つて来ました。動悸・息切れして行動が遅く、荷物を持つて貰い、初めて世話を受ける身を経験しました。

最近思うに、八十歳を超えて「期待される人間(高齢者)」像とは？

- 一、医師(病院) 処方薬を飲まない人。
- 二、たとえ、一、に該当していても
- a、毎日ウォーク五千歩程度出来る。
- b、標高(五百メートル)程度の低山登山が出来る。
- c、三〜四泊程度の一人旅行が出来る。
- d、ゲレンデの急斜面でも時間掛ければ降りられる。等。

自分は、a bは無理、dもどうかと思う。私の基準が甘い。辛い？皆さん教えて下さい。



## この頃の私



恩師 草間 弘子

退職してから十三年が過ぎようとしています。新年で一年生を担当しそのまま四年間同じクラスを受け持ちました。当時の私は世間知らずで鼻持ちならぬ教師だったと思います。それでも十二年間も勤め、二度目のクラス担当しながら三人の子供を育てられたのは、生徒の皆さんと感謝しています。

今、私はとにかく体に気を付けて生活しています。定年退職して始めた水泳とピアノは細々ながら続け、ナンプレで頭の体操をしています。先日、高齢者講習会を始めて受けました。教習所のコースで運転し、視野、夜間視力、動体視力おの検査をしました。当然のことながら若い時に比べ、全て能力低下です。今回は認知症の検査もあるとのこと。

心も体も大切にして生活していかなくてはと、つくづく思うこの頃の私です。



## 趣味と私



平成元年 第三十五回卒業 赤坂 祐二

私は色々な事にチャレンジしています。

茶道(師範の資格)、三条イカ合戦、大名行列の先共(ヤッコ)、謡曲、大鼓(おおづつみ)を打つ、等。

どれもやり甲斐のある活動ですが、全てをこなすには、結構大変だと感じる時もあります。しかし、働ながら定時制に四年間、雨の日も風の日も雪の日も、休まずに通つた事が自信につながり、頑張る事ができます。

これからも定時制で培った根性で、色々な事にチャレンジしていこうと思います。



「働学の絆」は皆様の寄付金で支えられています。

平成30年度 事業計画

- 1.三条高等学校本部事業への積極的な参加
- 2.同窓会定時制部会 総会・懇親会の開催
- 3.定時制部会報「働学の絆」発行

平成30年度 会計収支予算

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

科目	予算額	前年決算額	備考
前期繰越	285,099	285,099	
総会費	312,000	336,000	出席者減少
同窓会補助金	100,000	100,000	本部より
雑収入	83,000	83,000	祝儀ほか
事業参加費	20,901	14,000	反省会費
賛助金	240,000	238,000	同窓生より賛助協力金
広告協賛金	120,000	120,000	会報企業広告協賛金
合計	1,161,000	1,176,099	

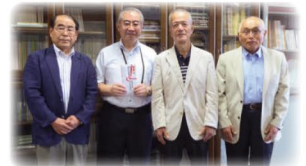
支出の部

科目	予算額	前年決算額	備考
事務通信費	21,039	21,039	
総会費	400,000	416,375	懇親会、お♪乃、他プレゼントリボン
印刷費	191,304	191,304	富士印刷
会報配送費	120,750	120,750	郵便局
会議費	3,896	3,896	
事業費	26,161	18,120	反省会費
振込手数料	6,560	6,560	
予備時	30,200	30,119	三高 県民の森 寄贈
合計	800,000	808,253	

「三高県民の森」寄付  
母校へ三万円支援

第十七回総会で募金活動の寄付金三万円を平成二十九年八月に曾根部会長・横山会計・野水事務局長で校長室を訪ねて上杉校長に「三高県民の森」環境整備のサポートとしてお届けしました。

定時制部会より三高在校生の学び舎環境への支援と考えています。上杉校長からは心よりの感謝と定時制部会へ高評価をいただきました。県民の森寄付金を継続事業として推進してまいります。皆様の暖かい支援とご協力をお願い致します。



上杉校長へ寄付金お届け

三高 県民の森

皆様へ身近な情報発信

三高定時制部会の情報共有と情報交流の場として紙面は大きく六つに分かれて掲載されております。

- ページ …… 部会長・同窓会長・学校長よりのメッセージ
- 二ページ …… 総会・懇親会内容をアルバムにて詳しくご紹介  
総会・懇親会の次第と内容を具体的な写真で紹介  
俳句コーナーで楽しみの二句
- 三ページ …… 出席者の想い出アルバムとして
- 四ページ …… 同窓会の広場
- 五ページ …… 同窓会の広場・会員よりのいろいろな感想文など
- 六ページ …… 趣味の泉・趣味は人生を楽しく、有意義にして長寿の秘策  
寄付金サポーター
- 七ページ …… 恩師だより  
(恩師のメッセージ 恩師の近況を知ると教え子は元気がです)
- 八ページ …… 事業計画・会計報告・事務局だより

働学の絆 寄稿のお願い

多くの同窓会員より趣味や健康の話題や人生の楽しみ方などたくさん原稿をお待ちしています。

会報をお読みいただいている同窓生にご理解とご協力をお願い致します。各卒業回の同級会を実施された内容を掲載して情報発信させていただきます。十二月までに同級会の想い出などのお便りをお待ちしています。



みちかな同窓会・懇親会へ

総会を簡素化して交流の場・懇親の場を中心に実施しています。

第十八回総会・懇親会の紹介ページでご理解いただけたと思います。恩師とのミニ同級会を楽しんでもらっています。皆様で開催予定の同級会を同窓会総会・懇親会と一緒に開催していただけないでしょうか。来年の同級会を検討されている方はジョイント企画を考えてください。プレゼント企画では新規参加者にはコシヒカリ一キログラムをご用意しています。ご参加の皆様には大変喜ばれており継続予定です。



ならの里「特別栽培米」1kg

第19回総会御案内

皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回のご案内

日時/2019年 6月8日(土) 第2土曜日

会場/銭心亭 お♪乃  
時間/受付 15時00分  
総会・懇親会 15時45分  
会費/6,000円の予定

※受付が30分早くなります。